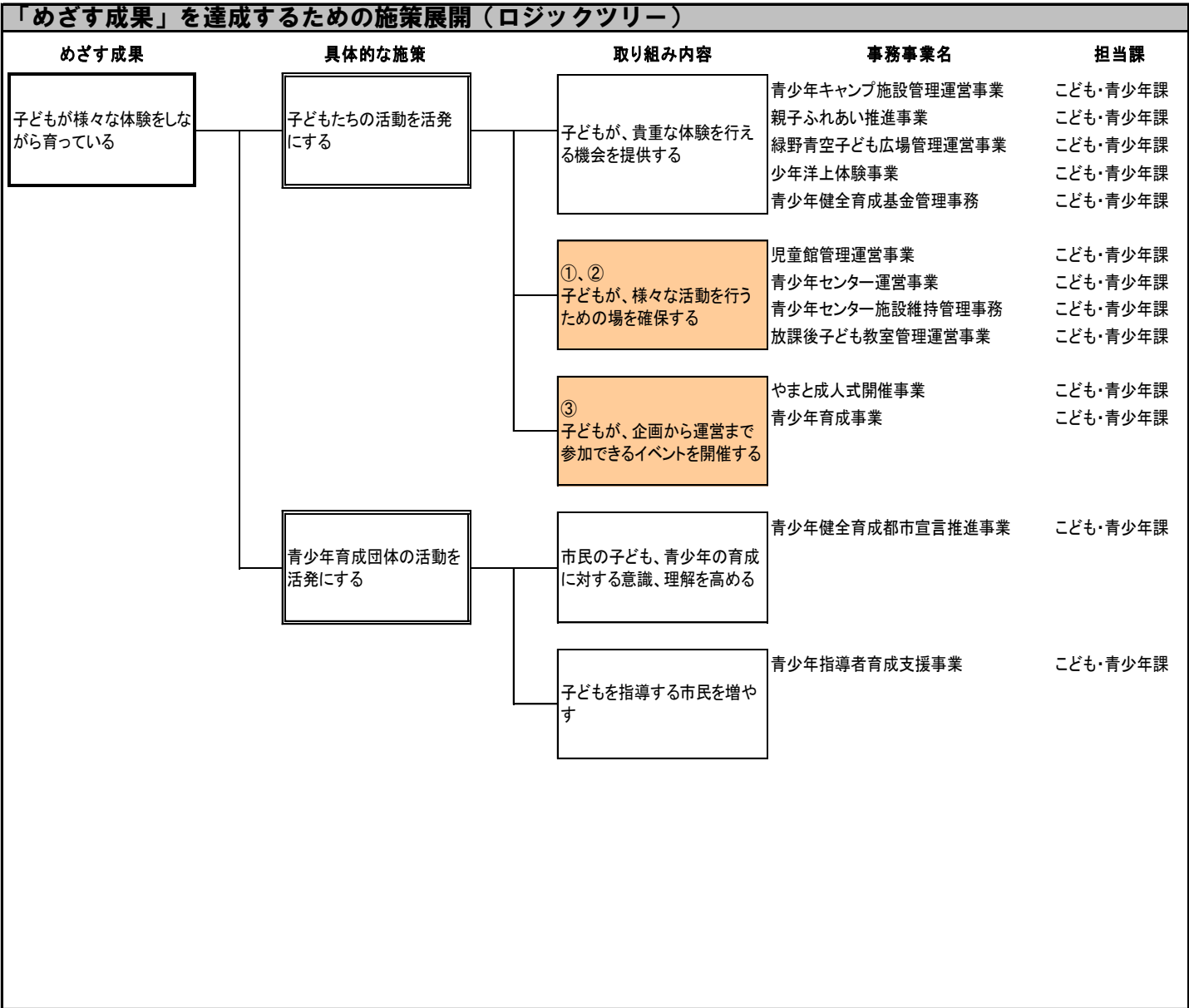


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
2－2－3　子どもが様々な体験をしながら育っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが様々な体験をしながら育っている 生活の中で、様々な居場所や体験の場が整い、子どもが豊かな人間性、社会性を身につけています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
児童館の1日当たりの平均利用者数（全22館）		放課後子ども教室実施校		中高生ボランティア参加者数	
計画策定時 現状値	502人	計画策定時 現状値	1校	計画策定時 現状値	33人
実績値 （H21）	488人	実績値 （H21）	2校	実績値 （H21）	18人
中間目標値 （H23）	506人	中間目標値 （H23）	19校	中間目標値 （H23）	44人
目標値 （H25）	506人	目標値 （H25）	19校	目標値 （H25）	53人

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【子どもたちの活動を活発にする】 ・子どもたちが明るくたくましく育つよう、安全で安心してさまざまな活動ができる場を提供しました。中でも、放課後子ども教室は、地域の自治会やP T A、学校等の代表者からなる運営委員会を組織し、運営内容を協議しながら市内3小学校で実施しました。その他、緑野青空子ども広場管理運営事業や少年洋上体験事業、やまと成人式開催事業など幅広く健全育成事業を実施しました。やまと成人式への参加状況は、平成20年度1,431人（参加率68.1％）から平成21年度1,409人（参加率72.7％）と参加率が伸び、新成人代表を中心とした実行委員会による参加しやすい成人式になるように取り組んだ結果が表れたものと考えられます。 【青少年育成団体の活動を活発にする】 ・青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、母親クラブ連絡協議会の3団体に対して、補助金を交付し活動を支援しました。

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・次世代を担う子どもたちが健やかに育つことは市民の願いであり、様々な体験や活動を実践することは、健全育成の観点においてとても重要なことから、親子ふれあい推進事業や少年洋上体験事業、ツリーガーデン、やまと成人式などの機会や場の提供のほか、青少年育成団体の活動支援などの環境整備を行っており、今後も事業内容の充実に努めていきます。 ・また、子どもが安心して気軽に利用できる居場所やのびのびと遊べる場所の確保のため、現在3校で実施している「放課後子ども教室」を市内全小学校に拡大します。 ・毎年11月に青少年健全育成大会を開催しますが、効果的な啓発の場となるよう内容の充実を検討します。
-------------------------	--

今後の展開方針		
注）例年とおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・各学校の施設調査を行うとともに、P T Aや学校側の希望や地域の協力体制を踏まえ、平成23年度に全校実施を目指します。	（該当する事務事業） 放課後子ども教室管理運営事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し	・青少年センターの一般利用について、受益者負担の適正化を検討します。 ・青少年健全育成の効果的な啓発の場となるよう、青少年健全育成大会の内容を検討します。	（該当する事務事業） 青少年センター運営事業 青少年健全育成都市宣言推進事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	・子どもの生活形態が多様化するなかで、行政が提供するサービスを利用できる子どもには限りがあると見受けられます。今後は、子どもの状況やニーズを踏まえたうえで、自ら体験できるような活動の場を増やすなどの事業展開について検討を行う必要があると考えます。その際には、地域での世代間交流の推進について、これまで以上に取り組む必要があると考えます。 ・また、事業の実施にあたっては、県の制度を活用するなど経費削減についても十分検討する必要があると考えます。 ・各種団体の支援にあたっては、支援の目的や必要性について積極的に市民に情報提供し、解りやすいものとなるように検討する必要があると考えます。